

「ドローン地産地防プロジェクト」開始！

～消滅危機をドローンで飛び越えろ～

ゆきの灯り

第34号
令和元(2019)年
11月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

先月10月3日(木)、石高原ティアガルテンにて、石高原町ドローンコンソーシアム設立発表会が開催されました。

当日は、町の防災アドバイザーである防災科学技術研究所の内山庄一郎氏をはじめ、楽天や慶應義塾大学SFC研究所、ドローンの専門事業者であるドローン・ジャパン、アイ・ロボティクス、パソルプロセス&テクノロジの計6社が首都圏から訪れ、石高原町、油木協働支援センターと共にコンソーシアムで行う取り組み内容についての説明と、屋外でのドローンの飛行デモンストラーションを行いました。朝から雨模様で、ドロー



地域のオペレーターを育成

を飛ばせるか心配されましたが、時間になると雨がやみ無事に飛行させることができました。この様子は、中国新聞や山陽新聞等のメディアでも報じられています。

コンソーシアムというのは、同じ目的をもった複数の団体があつまり、協同で取り組みを進める組織のことです。石高原町ドローンコンソーシアムでは、災害時の状況把握や捜索救助、食料等の物資配送にドローンを活用できるようにすることを目指して、今年度実証実験を行っていきます。また、こうしたドローンによる最先端技術を地元の消防団や事業者の方々にレクチャーし、緊急時には自分たちの手でドローンを扱い、災害対応が行えるように講習も行っていきます。

操縦には専門知識も必要です



講習に参加する方々はこの夏、ドローンの専門スクールで航空機に関する法律等の知識を学び、ドローンの操縦の基礎訓練を受講しました。9月の中頃

から月に2回のペースで、ドローンコンソーシアムの事業者からより専門的な講習を受け、日々ドローンの知識・技術の習得に励んでいます。

執筆者紹介
高橋英典さんは7月から「地域おこし企業人」として、東京に本社を置くパソルプロセス&テクノロジ株式会社より石高原町に派遣されました。主な活動は「企業誘致」で、イベントへの参加やサテライトオフィスの案内等を行っています。ドローン活用事業においては町との関係企業の拡大につながるとして、コンソーシアムの設立発表会やドローン事業者による講習の手伝いを行っています。

「にしかわ」運営委員会で、これまで出ていた話しを基に2つの企画チームを作ることにしました。その1つがチーム『懐かしの写真展』。きっかけは一枚の写真を頂いたこと。それは権現山付近の空から旧油木地区あたりを撮影した古い航空写真でした。写真をお眺め懐かしい記憶のある人達の間で話に花が咲きます。ちょうど「にしかわ」に立ち寄るきっかけ作りのため企画展「産業農業風景」でも募集しています。



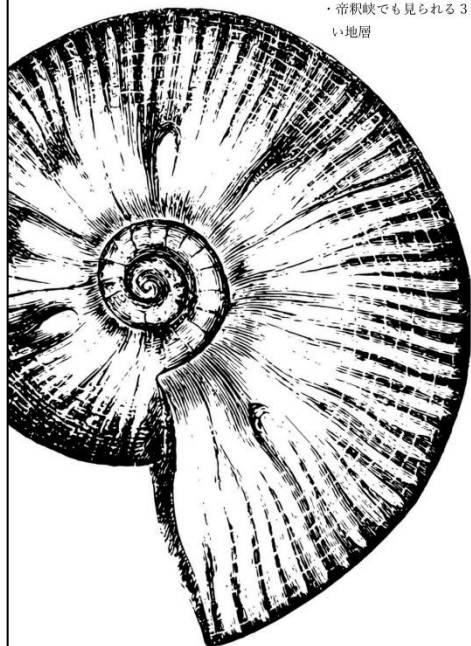
9月30日の第3回「にしかわ」運営委員会で、これまで出ていた話しを基に2つの企画チームを作ることにしました。その1つがチーム『懐かしの写真展』。きっかけは一枚の写真を頂いたこと。それは権現山付近の空から旧油木地区あたりを撮影した古い航空写真でした。写真をお眺め懐かしい記憶のある人達の間で話に花が咲きます。ちょうど「にしかわ」に立ち寄るきっかけ作りのため企画展「産業農業風景」でも募集しています。

第3回も開催しました！「化石魅力化の集い」。今回は非常に熱意のある少年2人の参加があり、大人がタジタジとする会となりました。第1回でも行ったレプリカ作りをステップアップし、石膏を素材にしたやや本格的な模擬標本を作りました。

「化石魅力化の集い」も段々と内容が深まってきています。今回は自然の空気の中に飛び出して、油木地区内の地層を見に行きましょう。電話にて予約をして下さい。先着順で受け付けます。



日時：令和元年 11月30日(土)
油木コミュニティセンター前 13時集合
定員 20名程度(先着順)
地域おこし協力隊 尾森さんがガイドをします。
2km程歩く所があるので、歩く体力のある方、歩きやすい靴でご参加ください。
小学校低学年以下のお子様には保護者が同伴してください。
電話申し込みが必要です。(〆切 11/22)
(油木協働支援センター 0847-82-0701 平日8時半～17時)
参加費無料。



油木の地層を見に行く時間：

住民の語らいの場

「にしかわ」楽しく運営委員会
2つの企画チーム結成！

もう一つは『まち歩き企画』。これは第1回の委員会です。出されていた案で、目的は「にしかわ」の認知度アップ。
某テレビ番組「オモリ」みたいなまち歩きを「にしかわ」発して、ケーブルテレビに取り上げてもらおう！と言うもろみです。この企画の要になるのは油木の歴史・成り立ち。
10月21日の企画チーム2回目の話し合いでは「にしかわ」の正面を通る道、旧国道がなぜ街道になったか、また「市場」がなぜ街として発展したのか、その根拠を書籍から探し出すことにしました。今後は油木の主要スポットにも話題を広げる予定です。

自分の地域の歴史を知ることはとても面白いものです。知っているつもりでも資料を読み解いていると様々な発見があります。一緒に企画に参加してみませんか。ご興味があればいつでも油木協働支援センターの事務所に声を掛けて下さい。次回の活動日時をご案内します。



ゆきなび 大人の教室

今年も大好評の
パン教室でした

10月8日(火)に今年度4回目のパン教室を開催しました。今回はロールパンとピザを作りました。

「ロールパンを巻くのは難しかったが、焼き上がりはキレイにできた」「ピザ生地は割と簡単だった」などの感想がありました。



ロールパン作り

ゆきキッズクラブ

おいしいピザが
できました

10月5日の料理教室はピザを作りました。

最初に生地を作り、色んな大きさのピザ生地を具をたっぷり入れて焼き上げました。キッズオリジナルの様々なピザが出来上がりました。



オリジナルのピザ

ピザ生地を伸ばす

手作りの年賀状

今回の手芸倶楽部は10月9日(水)と15日(火)の2回の連続講座で年賀状用の消しゴムはんこを作りました。

来年の干支である「子」をテーマに、とても細かい作業を夢中でした。手芸倶楽部は「にしかわ」で開催しました。



本格的な
チョコロール
ケーキに挑戦



ケーキの生地づくり

出来上がりのロールケーキ

10月24日(木)の第3回料理教室は本格的なチョコロールケーキを作りました。

材料の種類や手順も多く、時間いっぱい頑張りとても美味しいケーキが出来上がりました。普通のケーキとは材料も手順も異なり、とても勉強になりました。講師の横山先生には早くから調理室に入り準備など長時間の作業ありがとうございました。

座禅を体験しました

10月26日の自然を楽しむ会では石仏を巡りながら、永泉寺に到着。初めに平川住職に座禅の心構えや意義、呼吸法などを教わりました。

座禅の体験は短い時間から少しずつ長くし、計3回行いました。低学年のキッズも、声を出すことなくできました。

座禅のあと本堂の縁側でお弁当を食べて帰りました。



永泉寺の本堂



ゆきふるさとまつり 2019



10月27日(日)ゆきふるさとまつりが開催されました。天気が心配される中、当日は秋の好天気めぐまれ、グラウンドいっぱいの来場者で溢れました。

「にしかわ」に
お笑い芸人が来ました!

県内の市町を回り、お笑いで町を元気にする取り組み「23市町わっしょいプロジェクト」によって、広島県住みます芸人「藩飛礼(はんびれい)」が「にしかわ」にやってきました。

お笑いライブには30人以上の人が訪れ、建物の外まで笑い声が響きました。



楽しいお笑いライブの様子

地域の話題

新坂わくわく大収穫祭



芋掘りの様子

10月14日(月・祝)に新坂わくわく大収穫祭(芋掘りと新坂のスィーツ探し)を「内海町の将来を考える会」を迎えて開催しました。

芋掘り、栗拾い、石神社の見学(映画鑑賞を含む)、柿もぎ、椎茸もぎを行いました。昼食としてカレーライス、鮎の塩焼きを食べました。

祭

ワッショイ!
ワッショイ!



参加者みんな
で記念撮影



油木地域敬老会 開催

10月20日(日)油木山村開発センターにて油木地域敬老会が開催され、長寿者に表彰並びに記念品の贈呈が行われました。

祝宴のオープニングとして油木保育所・油木小学校・神石高原中学校の演奏や踊りが行われました。

演芸では油木交番所の寸劇、パンブーキャットの民謡や踊りで、楽しい敬老会でした。



長寿者表彰と記念品の贈呈